

活動報告

団体名	災害ボランティア 愛・知・人
活動名	地震被害を受けた方のための屋根の応急処置及び家屋復旧作業
活動期間	2022年3月19日～2022年6月30日
活動の成果	<p>●災害協定締結の件</p> <p>桑折町では定期的に参加していた地元の一般ボランティア5名が、屋根作業を習得してくれたことが大きな成果でした。そして桑折町・社協・愛知人の3者により「災害協定」を締結しました。今後の災害時には愛知人を受入れていただく事、町民の皆さんで町を守って行くことが出来るよう定期的に防災訓練や講習会を開催しそこに愛知人が講師として参加すること、を目的とした協定。</p> <p>また、5/21には桑折町長・桑折町社協会長から感謝状を頂きました。</p> <p>桑折町社協さんは、当初はボラセン立上げさえ躊躇していた様子でしたが、ほぼ全家屋と言っていいほど被害を受けた伊達崎地区の現状を目の当たりにされたことでボラセン立上げ一般ボラ（町民限定）の受入れも開始しました。チラシ配布、広報への掲載により、どんどんニーズも増えていきました。社協の担当者は実質1名で相当な重荷になっていたため、にいがた災害ネットワークに相談。早速駆けつけて頂き、相談に乗って下さいました。そして私たちもかなり危機感を感じていることも伝わったのだと思います。一緒に作業をして頂いたり、宿舎を無償提供頂いたり、ユニック車を手配頂いたり、本当にみるみる変わっていくのがわかりました。</p> <p>その体験談を未被災地である、春日井近隣の社協職員さんに伝えたいと思い6/19に春日井で講演会を開催しました。愛知（春日井・小牧・稲沢・北名古屋）・岐阜（多治見）滋賀（彦根）・三重（尾鷲：オンラインで参加）の社協さん、そして春日井市長はじめ愛知県・春日井市議会議員さんが参加され総勢31名の講演会でした。（HPに掲載しています）</p> <p>ここ数年、近隣社協さんからブルシート張りや床下講習の依頼が増えてきており、日頃から繋がれる社協さんが増えてきました。災害の多さに加え、コロナ禍になりボランティアを集めづらくなっている中、地元で何とかしなければという思いが強くなってきている気がします。</p> <p>これまでも、愛知人の活動報告会はしてきましたが、今後は未被災地の社協さん向けの講演会も継続していきたいと考えています。</p> <p>●活動実績</p> <p>期間：3/19～5/29 ※5/6までは赤池が長期滞在し平日も活動</p> <p>人員：のべ638名（他団体の応援者含む）平日4～8名・休日6～20名 長期滞在1名（3/19～5/6）中期（1～2週間）滞在10名</p> <p>完了件数：合計129件（屋根101件） 桑折町106件（屋根82件）・国見町21件（屋根17件）・相馬市2件（屋根）</p> <p>●今後の課題</p> <p>当初からユニック車をレンタルしておけば、さらに安全に効率よい作業が出来たと思います。今後の屋根作業においてはユニック車は必須であると考えています。</p>

寄付者への
メッセージ

2年連続で大地震に見舞われた福島県。11年前の東日本大震災の傷跡が残っているお宅もありました。住民さんの落胆ぶりは大きかったです。修復されていく家を見守る目には涙もあり、最後には笑顔に変わっていきました。今回も皆様からのご寄付により、遠方からの交通費や安全のための備品を揃えることができましたこと改めて感謝いたします。ありがとうございました。

(活動のようす)

